

授 業 概 要

(社会福祉科)

科目名 公的扶助論		授業の種類 講義		授業担当者 立花 匡真	
授業回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公的扶助の理論の概要を把握する 2 国家試験に合格するための基礎学力を身に付ける <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、基礎的な内容を把握できるよう確認試験を解答させる</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 過去問題が解けるようになる 2 確認試験で知識を確実に身に付ける 3 生活保護制度の現状についてのビデオを鑑賞する 					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
コマ数	テーマ	コマ数	テーマ		
1	1. 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要の実際Ⅰ	16	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅶ		
2	1. 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要の実際Ⅱ	17	7. 自立支援プログラムの意義と実際		
3	1. 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要の実際Ⅲ	18	8. 低所得者対策Ⅰ		
4	1. 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要の実際Ⅳ	19	8. 低所得者対策Ⅱ		
5	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅰ	20	8. 低所得者対策Ⅲ		
6	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅱ	21	8. 低所得者対策Ⅳ		
7	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅲ	22	9. 低所得者への住宅政策		
8	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅳ	23	2. 生活保護制度 生活保護法の沿革		
9	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅴ	24	3. 生活保護における組織及び団体の役割と実際		
10	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅵ	25	1. 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際Ⅴ		
11	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅶ	26	生活保護の現状についてのビデオ鑑賞授業		
12	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅷ	27	福祉事務所の実際についてのビデオ鑑賞授業		
13	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅸ	28	プレテスト1		
14	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅹ	29	プレテスト2		
15	2. 生活保護制度 生活保護法の概要Ⅺ	30	プレテスト3		
[使用テキスト・参考文献] 弘文堂 社会福祉士シリーズ 低所得者に対する支援と生活保護制度[第2版]			[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要		

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業のタイトル (科目名) 高齢者福祉論	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実技)	授業担当者 川本 公代 (実務経験者)	
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 2 年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>我が国の高齢者を取り巻く環境は大きく変容した。法制度の面においても、2000年より介護保険法が制定され、継続可能な社会保障制度の再構築に向けて議論、制度改革が進められている。高齢者介護の課題にくわえ格差の拡大、虐待などの問題も表面化している。高齢者に対する支援を考えるにおいて、高齢者の社会的存在と身体的理解、精神的理解して高齢者を総合的に支援する視点を持てる。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者保健福祉、介護保険、関係法規について理解し説明できる。 ・ 高齢者支援の具体的手法を理解し説明できる ・ 介護について理解し説明できる 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第 1 回 高齢者を支援する組織と役割</p> <p>第 2 回 高齢者支援の方法と実際 I</p> <p>第 3 回 高齢者支援の方法と実際 II</p> <p>第 4 回 高齢者を支援する専門職の役割と実際 I</p> <p>第 5 回 高齢者を支援する専門職の役割と実際 II</p> <p>第 6 回 介護の概念、対象 I</p> <p>第 7 回 介護の概念、対象 II</p> <p>第 8 回 介護過程 I</p> <p>第 9 回 介護過程 II</p> <p>第 10 回 介護各論 1-I</p> <p>第 11 回 介護各論 1-II</p> <p>第 12 回 介護各論 2-I</p> <p>第 13 回 介護各論 2-II</p> <p>第 14 回 介護各論 2-III</p> <p>第 15 回 高齢者福祉の課題</p>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>高齢者に対する支援と介護保険制度 中央法規</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位取得には 8 割以上の出席が必要 ・ 筆記試験を課し、到達目標の 6 割以上の修得が必要 	

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業のタイトル (科目名) 表計算ソフト (Excel)		授業の種類 (講義・ 演習 ・実技)		授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>Excelの基礎的関数を理解し、操作できるようになること。 具体的には、日検表計算検定で3級を取得できるレベルを目指す。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EXCEL の基礎知識を確認し機能を覚える。 ・ 平均・最大・最小・カウント・四捨五入・IF 関数を利用できるようになる。 ・ さらに余裕のある学生は、順位づけ・ラージ・スモール・列検索・行検索・条件付き集計を算出することができる。 					
<p>1 エクセル画面 各部名称の説明 表計算3級試験概要 説明</p> <p>2 過去問題典型例1 解答作業解説Ⅰ 3 過去問題典型例1 解答作業解説Ⅱ</p> <p>4 過去問題典型例1 解答作業解説Ⅲ 5 過去問題典型例2 解答作業解説Ⅰ</p> <p>6 過去問題典型例2 解答作業解説Ⅱ 7 過去問題典型例2 解答作業解説Ⅲ</p> <p>8 過去問題典型例3 解答作業解説Ⅰ 9 過去問題典型例3 解答作業解説Ⅱ</p> <p>10 過去問題典型例3 解答作業解説Ⅲ 11 過去問題典型例4 解答作業解説Ⅰ</p> <p>12 過去問題典型例4 解答作業解説Ⅱ、過去問題典型例5 解答作業解説Ⅰ</p> <p>13 過去問題典型例5 解答作業解説Ⅱ</p> <p>14 過去問題典型例5 解答作業解説Ⅲ、過去問題典型例6 解答作業解説Ⅰ</p> <p>15 過去問題典型例6 解答作業解説Ⅱ</p> <p>16 過去問題典型例6 解答作業解説Ⅲ、過去問題典型例7 解答作業解説Ⅰ</p> <p>17 過去問題典型例7 解答作業解説Ⅱ</p> <p>18 過去問題典型例7 解答作業解説Ⅲ、過去問題演習Ⅰ</p> <p>19 過去問題演習Ⅱ 20 過去問題演習Ⅲ 21 過去問題演習Ⅳ</p> <p>22 過去問題演習Ⅴ 23 過去問題演習Ⅵ (まとめ)</p> <p>24 表計算3級 試験実施 25 過去問題練習 26 過去問題練習</p> <p>27 過去問題練習 28 過去問題練習 29 過去問題練習</p> <p>30 過去問題練習</p>					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>30時間でマスターExcel2010</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位取得には8割以上の出席が必要 ・ 筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要 		

授 業 概 要

科目名 福祉住環境	授業の種類 講義	授業担当者 立花 匡真	
授業回数 45回	時間数(単位数) 90時間(3単位)	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>1 福祉住環境コーディネーター2級合格</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>試験問題で得点できるようにテキストの内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>1 福祉住環境コーディネーター試験で7割を取る</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
コマ数	テーマ	コマ数	テーマ
1	1章1節 P14まで 介護保険制度の目的と基本的な仕組み	24	5章補節 P326まで 火気使用室の防火対策
2	1章1節 P28まで 2014年介護保険制度の改正の主な内容	25	6章1節 P340まで 介護保険制度における福祉用具
3	1章1節 P32まで 高齢者向けの住宅施策の変遷	26	6章2節 P354まで 歩行補助つえ
4	1章2節 P46まで 障害者の住宅に関する実態	27	6章2節 P368まで リフト・吊り具
5	1章2節 P60まで 障害者向けの住宅施策の変遷	28	6章2節 P382まで 聴覚・言語障害関連の用具 →対策授業へ
6	1章3節 P74まで 福祉住環境コーディネーターに携わる者の倫理	29	第25回過去問題演習
7	2章2節 P88まで 地域包括ケアシステムとは	30	第26回過去問題演習
8	2章4節 P102まで 心身機能とその変化にかかわる要因	31	第27回過去問題演習
9	3章1節 P116まで 高齢者に多い疾患の特徴	32	第28回過去問題演習
10	3章1節 P130まで 認知症 生活上の問題点と福祉住環境整備	33	第29回過去問題演習
11	3章1節 P144まで 心筋梗塞 疾患の特徴	34	第30回過去問題演習
12	3章2節 P158まで 脳性麻痺	35	第31回過去問題演習
13	3章2節 P172まで 視覚障害	36	第32回過去問題演習
14	3章2節 P186まで 知的障害	37	第33回過去問題演習
15	4章1節 P200まで 関連職との連携の重要性	38	第34回過去問題演習
16	4章3節 P214まで 福祉関連職	39	第35回過去問題演習
17	4章4節 P228まで 福祉住環境整備の進め方(施工の実施)	40	第36回過去問題演習
18	5章1節 P242まで 建具への配慮の必要性	41	第37回過去問題演習
19	5章1節 P256まで 維持管理(メンテナンス)への配慮	42	第38回過去問題演習
20	5章2節 P270まで 廊下の住環境整備の留意点	43	第39回過去問題演習
21	5章2節 P284まで その他の住環境整備および設備機器への配慮	44	第40回過去問題演習
22	5章2節 P298まで キッチンの住環境整備の留意点	45	第41回過去問題演習
23	5章補節 P312まで 図面のルール		
[使用テキスト・参考文献] 福祉住環境コーディネーター2級公式テキスト(東京商工会議所)		[単位認定の方法及び基準] 期末試験(筆記試験)・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要の実施	